

# 市指定避難所一覧表

No.	市指定避難所の名称	海拔(m)	No.	市指定避難所の名称	海拔(m)
1	寺家小学校	3	24	早月中学校	32
2	滑川市民会館大ホール	3	25	北加積小学校	46
3	滑川東地区公民館	6	26	滑川市農村研修センター	34
4	地域交流センター「青志会館」	6	27	北加積コミュニティ防災センター(北加積地区公民館)	44
5	滑川市総合体育センター	16	28	幼保連携型きたかづみ認定こども園	44
6	サン・アビリティーズ滑川	16	29	滑川市農村環境改善センター	34
7	滑川市立図書館	6	30	東加積小学校	104
8	滑川市民交流プラザ(3階・4階部分)	7	31	東加積コミュニティセンター(東加積地区公民館)	111
9	同朋幼稚園	4	32	みのわ健康休養施設(みのわ温泉)	189
10	同朋保育園	4	33	南部小学校	22
11	滑川コミュニティ防災センター	5	34	中加積地区公民館	18
12	田中小学校	2	35	中加積保育園	21
13	滑川高等学校	2	36	童和保育園	11
14	フットボールセンター富山	1	37	西部小学校	11
15	認定こども園たかつき保育園	2	38	滑川中学校	6
16	滑川市民健康センター	4	39	西加積地区公民館	9
17	働く婦人の家	4	40	滑川市社会福祉センター	11
18	西地区コミュニティホール(滑川西地区公民館)	2	41	認定こども園上小泉保育園	10
19	希望幼稚園	6	42	児童館	8
20	浜加積地区公民館	20	43	山加積コミュニティセンター(山加積地区公民館)	22
21	坪川保育所	6	44	青雲閣	287
22	東部小学校	33	45	中滑川複合施設(3階部分)	4
23	早月加積地区公民館	40			

※「津波」のとき …… No.14は、2階以上に避難してください。  
 「地震」のとき …… No.9・44は、避難対象外です。  
 「洪水」のとき …… No.2・14・15・18・32・36は、避難対象外です。  
 No.1・4・12・13・16・17は、2階以上に避難してください。  
 「土砂災害」のとき …… No.32は、避難対象外です。  
 「高潮」のとき …… すべて避難対象です。

## 津波浸水深と被害の目安

高さの目安	被害の目安
5.0m 2階の軒下まで浸かる深さ	2.0m以上 木造住宅が全面破壊
2.0m 1階の軒下まで浸かる深さ	1.0m以上 木造住宅が部分破壊
1.0m 胸まで浸かる深さ	70cm以上 死亡率が高くなる
50cm ひざまで浸かる深さ	

発行:滑川市総務部総務課  
 〒936-8601滑川市寺家町104番地  
 TEL:076-475-0573(直通)  
 FAX:076-475-6299(直通)

※参考文献:  
 国土交通省、消防庁、気象庁、富山県等の刊行物やホームページを参考にしています。

平成30年3月発行  
 令和3年11月一部修正  
 令和5年3月一部修正

# 地震・津波災害時の避難行動

地震が発生したときは、まず身の安全を確保しましょう!

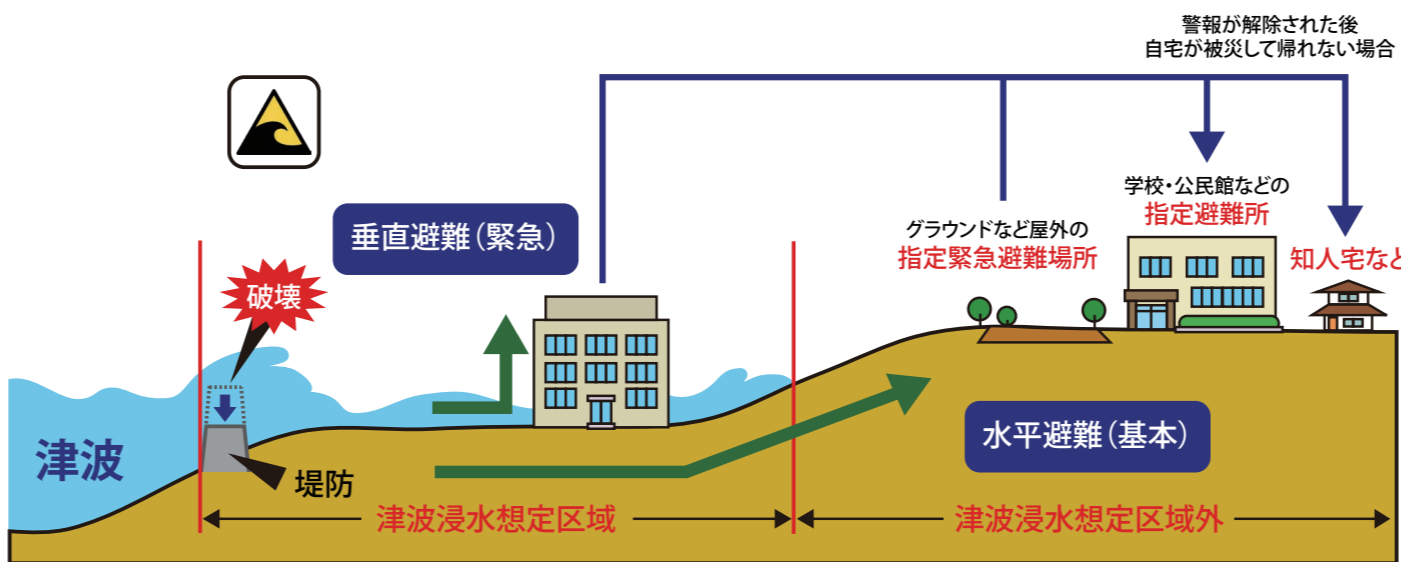
## 津波浸水想定区域内にいるとき

- 強い揺れや長い揺れを感じたら、**自らの判断で迅速に避難行動を!**  
揺れを感じなくても、**津波注意報・津波警報・大津波警報**が発表されたら、**迅速に避難行動を!**
- 山側・線路側に向かって、徒歩で避難する「水平避難」**を基本とし、逃げる時間がない場合は、**近くのできるだけ高い場所へ避難する「垂直避難」**を!  
(堅牢な鉄筋コンクリート造りの建物の2階以上(小学校の屋外階段を使って屋上等)へ)
- 津波注意報・津波警報・大津波警報**が解除されるまでは、**絶対に海に近づかない!**



提供:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

自助



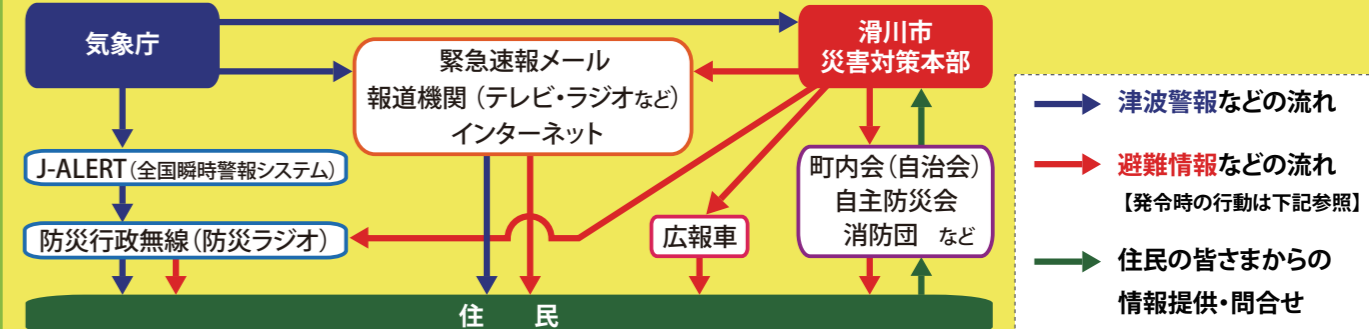
## 津波浸水想定区域外にいるとき

- すばやく火の始末(ガスの元栓・コンセント) ●非常脱出口の確保(ドア・窓を開ける)
- 地震発生 1~2分【揺れがおさまったら】**  
●火元を確認(火が出たら、落ちていて初期消火) ●家族の安全を確認  
●靴を履く(家の中はガラスの破片が散乱) ●避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機に注意
- 地震発生 3分【みんなの無事を確認・火災の発生を防ぐ】**  
●漏電・ガス漏れに注意(ガスの元栓・電気のブレーカーを切る) ●出火防止・初期消火  
●消火器を使う ●バケツリレーを行う(風呂の水は溜め置きにする)
- 地震発生 5分【ラジオなどで正しい情報を】**  
●隣近所に助け合う ●行方不明者はいないか ●救出・救護を ●隣近所に声をかけよう  
●けが人はいないか ●大声で知らせる ●防災機関・自主防災組織の情報を確認  
●デマに惑わされないように ●避難時に車は絶対に使用しない ●電話は緊急連絡を優先する
- 地震発生 10分▶数時間▶3日**  
●水・食糧は蓄えているもので賄う(3日分の飲料水と食糧を備蓄しておく【右記参照】)  
●災害情報・被害情報の収集 ●無理はやめよう ●助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

自助・共助

# 情報の伝達・入手経路

津波警報・大津波警報や避難情報などは、次のような経路で伝達されたり、入手することができます。



# 避難情報など発令時の行動

警戒レベル	避難情報	行動
5	緊急安全確保	命を守るための最善の行動をとる。
警戒レベル4までに必ず全員避難してください!		
4	避難指示	すぐに避難行動をとり、避難を完了する。
3	高齢者等避難	避難に時間を要する人は避難を開始する。
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁が発表)	災害に備え、避難行動を確認する。
1	早期注意情報(気象庁が発表)	災害への心構えを高める。

# 備蓄品・非常持出品リスト(主なもの)

災害発生直後は救援物資が十分に行き渡らない場合があります。**最低3日分を目安**に各家庭で備蓄し、衣類や生活用品など非常持出品は持出袋に備え、定期的に確認・点検しましょう。

備蓄品	非常持出品
<input type="checkbox"/> 食品 レトルト食品、アルファ米、缶詰など <input type="checkbox"/> 飲料水 1人1日3L目安 <input type="checkbox"/> 生活用品 風呂の残り湯 <input type="checkbox"/> 燃料 卓上コンロ、固形燃料、ガスボンベ	<input type="checkbox"/> 非常食 カンパン、缶詰など <input type="checkbox"/> 飲料水 500mL 2~3本 <input type="checkbox"/> 貴重品 現金、預金通帳、印鑑など <input type="checkbox"/> 情報機器 携帯電話、モバイルPC <input type="checkbox"/> 身分証明書 パスポート、運転免許、保険証 <input type="checkbox"/> 要支援者用品 粉ミルク、ほ乳瓶、紙おむつなど
<input type="checkbox"/> 救急用品 救急箱「ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、体温計、常備薬等」、マスク、生理用品、ゴム手袋、消毒用アルコールなど <input type="checkbox"/> 防災用品 ヘルメット、軍手、懐中電灯、笛、携帯ラジオ、カイロ、予備電池、救命胴衣(ライフジャケット)、携帯用トイレなど <input type="checkbox"/> 衣料品 暖かい衣服、下着、タオル、ハンカチ、雨具など <input type="checkbox"/> 火気 ろうそく、ライター、マッチなど	